

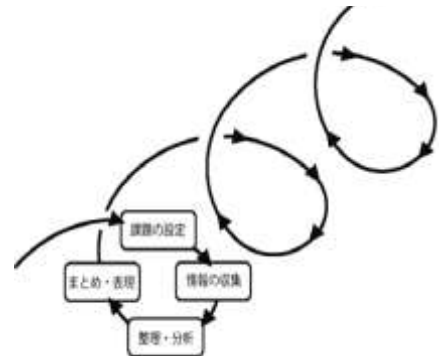
探究的な学習とアクティブ・ラーニングの整理

1 探究的な学習とは

- 生徒が主体的に課題を設定し、教科横断的な視点から、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習方法の総称

- ・日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定する。
- ・探究の過程を経由する。
 - ①課題の設定
 - ②情報の収集
 - ③整理・分析
 - ④まとめ・表現
- ・自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

図 探究的な学習における生徒の学習の姿



(出典) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (文部科学省、平成 25 年 7 月)

- 平成 26 年 11 月中央教育審議会「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (諮問)」では、高大接続改革に関する議論や、これまでの関連する答申等も踏まえつつ改善を図るべき課題の一つとして、より探究的な学習活動を重視する視点からの「総合的な学習の時間」の改善の在り方があげられている。

2 アクティブ・ラーニングとは

- 平成 26 年 11 月中央教育審議会「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (諮問)」

- ◆課題の発見と解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ学習
- ◆知識・技能を定着させる上でも、また、子供たちの学習意欲を高める上でも効果的である

- 「何を学ぶか」から「どのように学ぶか」の視点に立ち、能動的な授業への転換を図る学習手段の一つ
- 高校の専門学科では、自ら考え、知識・技能を学んでいく過程で、また、総合学科では、原則履修科目「産業社会と人間」の中で、進路を考えさせ、広く社会を経験させる過程で、アクティブ・ラーニングが機能している。普通科での実施、普及が課題となっている。

3 「探究的な学習」と「アクティブ・ラーニング」の推進による普通科の活性化

- アクティブ・ラーニングによる不断の授業改善を推進する。

- ◆習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた学びの実現
 - ◆他者との協働や情報との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的学びの実現
 - ◆粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの実現
- (中央教育審議会資料、平成 27 年 8 月)

- 普通科においても、総合的な学習の時間等を活用した探究型学習活動を推進する。
- より高度な「探究型学習」を進めるためには、総合的な学習の時間の活用に加え、探究活動に取り組む時数や、指導体制の充実をいかに図っていくかが課題となる。

探究科等の設置

- 学校設定科目の開設により、探究的な学習の時間を普通科よりも多く確保する。
- 専門学科として設置することにより、教員の加配を活用した、より専門的な科目を教育課程に配置する。(例：「理数探究」「国際探究」)
- 国の SSH、SGH 指定を目指し、研究所訪問や海外研修旅行など体験的な活動を行う。